

日本SME格付け取扱業務

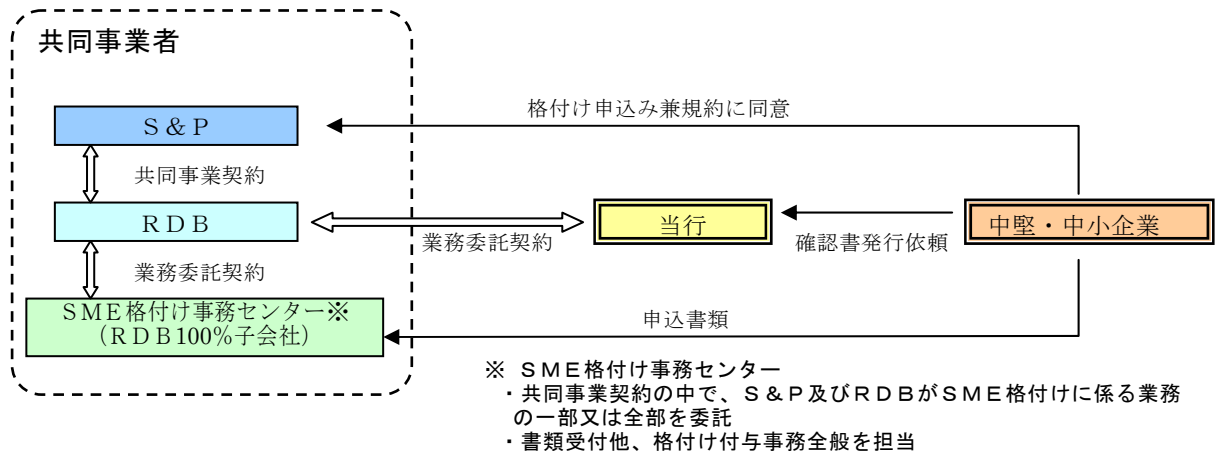
【日本SME格付け取扱業務とは】

「日本SME格付け」は、日本国内の非上場の中堅・中小企業を対象とした「債務の履行能力」に関する格付けであります。「SME格付け」は、スタンダード&プアーズ（以下「S&P」という。）と日本リスク・データ・バンク株式会社（以下「RDB」という。）が共同開発した中小企業クレジットモデルをベースに、S&Pが独自に開発したノウハウを活用し、システムティックに付与されるものであります。

日本SME格付け取扱業務は、東和銀行とRDBとの業務委託契約に基き、格付け取得を希望する企業がRDBに申込みを行う際にその企業について東和銀行が「申込確認書」を作成発行する等の業務であります。

※ SMEは、Small & Medium Sized Enterprise（中小・中堅企業）の略です。

<「日本SME格付け」の関係者>



【格付け取扱業務の内容】

1. 「SME格付け」の取扱い業務

- 「SME格付け」の紹介
- 「確認書発行依頼書」の受理
- 「申込確認書」の作成・発行
- 「申込確認書」の「SME格付け事務センター」宛て送付

2. 前項（3）に付帯する業務

- 申込み企業の実態確認（実在、業務内容等）
- 延滞その他の与信契約に係る不履行がないことの確認
- その他必要となる調査 等

【対象企業と格付け手法】

1. 対象企業

次の条件を満たす企業であること。

- 年間売上高が5億円以上100億円以下の日本の企業
- 非上場企業
- 税理士が関与した決算書が5期以上あること。
- 申込取扱金融機関（東和銀行）の「申込確認書」を得られること。
- 次の業種等ではないこと。

自営業者、金融業、リース業、公共団体、各種公社、社団法人、財団法人、学校法人、医療法人、公益法人、各種組合 投資組合（LLP）等

2. 格付け手法

RDBとS&Pが共同開発した中小企業クレジットモデルをベースに、S&Pが独自に開発したノウハウを活用し、申込み企業の財務諸表（定量評価）に基づいてシステムティックに格付けを付与します。個々の中小企業に対するアナリストの主観的な評価や判断（定性評価）は勘案されません。

3. 格付けの定義

格付け	定義
aaa	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は極めて高い。S&Pが付与する日本SME格付けのなかで最上位の格付け。
aa	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は非常に高く、最上位の格付け（aaa）との差は小さい。
a	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は高いが、上位2つの格付けに比べ、事業環境や経済状況の悪化からやや影響を受けやすい。
bbb	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は適切であるが、事業環境や経済状況の悪化によって債務履行能力が低下する可能性がより高い。
bb	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力がやや脆弱である。事業環境、財務状況、または経済状況の悪化に対して大きな不確実性、脆弱性を有しており、状況によっては債務を期日通りに履行する能力が不十分となる可能性がある。
b	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力が脆弱である。事業環境、財務状況、または経済状況が悪化した場合には、債務を履行する能力や意思が損なわれやすい。
ccc	日本の中小企業間の比較において、現時点で脆弱であり、その債務の履行は、良好な事業環境、財務状況、および経済状況に依存している。事業環境、財務状況、または経済状況が悪化した場合には、債務を履行できない可能性が高い。

注) 日本SME格付けは、日本の中堅・中小企業間の比較における信用力の評価であり、S&Pの伝統的な格付け（大文字アルファベットで表記）とは別の評価体系であります。

【格付け取得によるサービス】

1. SME格付け証書の交付
S&Pが証明するSME格付け証書が交付されます。
2. SME格付けアイコンの提供
書類、名刺、WEBサイトで利用できる「SME格付けアイコン」（サービスマーク）が提供されます。
3. 財務診断レポートの提供
財務診断レポート（*）が提供されます。
（*）財務診断レポート
 - ・成長性、収益性、キャッシュフロー、自己資本比率などに関する主な指標を掲載
 - ・格付け取得企業の強みと弱みを客観的に評価
 - ・全国、同業他社、上位・下位の格付け企業との比較が可能
4. SME格付けリストへの掲載
S&P「日本SME格付け専用サイト」のSME格付けリストに、格付け取得企業の社名他を掲載することが可能です。格付け結果の受領後、掲載を希望する企業に対して掲載します。

【格付け取得費用】

格付け取得費用

1社につき、企業がRDBに支払う費用は次の通りであります。

	費用
新規取得の場合	50万円（本体価格）＋消費税
2回目以降取得の場合（*1）	40万円（本体価格）＋消費税

（*1）2回目以降取得の場合は、過去に他の銀行を介して格付けを取得した場合を含む。

（*2）前回決算から連続しての付与の場合に限り、1期でも間が空いた場合には、初回の取得費用を適用する。

【格付け取得企業のメリット】

1. 社外的メリット

企業のIR目的（信用力のアピール、採用活動の効率化）、経営目標、信用力のリファレンス（資金調達の多様化）、取引先の拡大、業務提携支援等

2. 社内的メリット

信用力の把握、自社の強み・弱みおよび経営課題の明確化、財務戦略の可視化、従業員の士気の向上

3. 海外取引先に対するメリット

中堅・中小企業でも海外への販路開拓、工場設置など海外との取引時、自社の経営状況をより明確に伝えることを目的に、「格付け証書」「格付け財務レポート」に英文を表記することができる

【ご参考資料】

[スタンダード&プアーズ「日本SME格付け」リーフレット](#)

お問い合わせは、お近くの東和銀行窓口へお願いいたします。

ふれあいバンク

